

4°C

holdings group

株式会社4°Cホールディングス 第70期第2四半期株主通信

(2019年3月1日から2019年8月31日まで)

株主の皆様へ

～ すべてはおお客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役会長・CEO
木村 祭氏

代表取締役社長・COO
瀧口 昭弘

2020年2月期第2四半期の総括

2020年2月期第2四半期の連結業績は、売上高はほぼ前年同期並み、営業利益、経常利益は計画以上に推移しました。

事業別業績をみると、ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは減収増益、既存店売上高は回復基調となりました。プライダルジュエリーの各種施策が奏功したことに加え、不採算店舗の圧縮に取り組んだことにより店舗収益力が向上しました。アパレル事業では、アスティグループは、企画提案力と生産背景を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功し、収益力が大幅に向上しました。(株)アージュでは、主力のデイリーファッション事業「バレット」の出店拡大を進めるとともに物流経費の圧縮に積極的に取り組み、好調に推移しました。その結果、アパレル事業は増収増益となりました。

通期業績予想と下期の重点施策

当社グループは、下期においても事業ごとの重点施策を推進していきます。ジュエリー事業では、オウンドメディアによる情報発信力を高めるとともに、10月にスタートした新しい顧客管理システムを通じてお客様との関係性を深めてまいります。また、最大需要期のクリスマス商戦では、ギフト

需要の早期喚起に取り組むとともに、自家需要への対応も強化してまいります。商品やプロモーションのクリエイティブを向上させ、上質なイメージを訴求していきます。プライダルジュエリーでは、お客様との接点の増加やWEBメディアにおける発信力強化により、集客力の向上を図ります。そして、「Canal」(カナル)のリブランディングに9月より取り組んでおります。トレンド性・デザイン性の高いファッションジュエリーセレクトショップとして生まれ変わり、自家需要の拡大を目指します。アパレル事業は好調に推移しており、下期も施策を着実に実行し、安定収益基盤事業としての役割を果たしていきます。そして、中長期的な最重要課題である4°Cブランドの価値向上に向け、「Challenge and Change (挑戦と変革)」をテーマに掲げた第5次中期経営計画のもと、引き続き「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて、「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでまいります。

2020年2月期の通期連結業績は当初計画から変更はなく、売上高は473億円、営業利益は51億円、経常利益は54億円、当期純利益は34億円と増収増益の見通しです。株主の皆様に対する利益還元につきましては、2019年10月に自己株式500万株を消却したほか連続増配へのこだわりを堅持し、今期は通期中間配当を含めて5円増配となる80円を予測、9期連続の増配を予定しています。

第5次中期経営計画の基本方針 (2019年2月期～2021年2月期)

スローガン

挑戦と変革 Challenge and Change 4°Cブランドの価値向上
(「100年企業」、「100年ブランド」を目指して)

事業ビジョン

1. ジュエリー事業

- 商品・販売・サービスの向上による既存店の回復・成長
- 情報技術への対応力強化によるEC事業の拡大
- 海外戦略の再構築

2. アパレル事業

- ODMの企画提案力強化
- 関西地区ドミナント出店によるマーケット拡大

組織ビジョン

1. グループ経営管理機能の強化

2. グループ人材補強・育成の推進

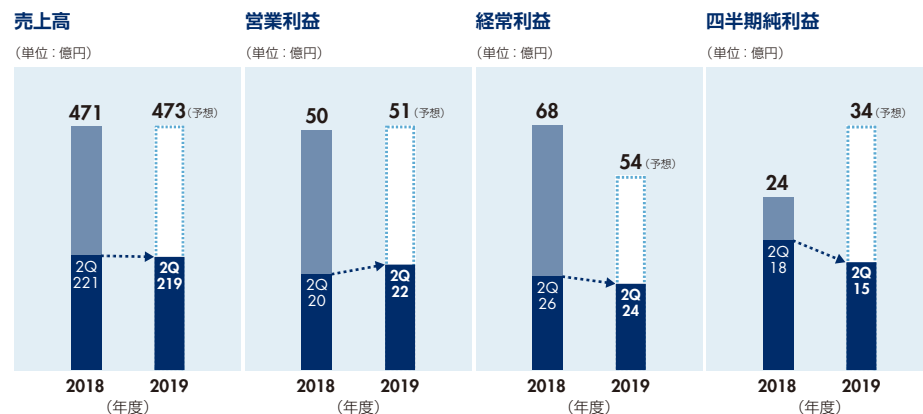
3. ダイバーシティ経営の推進

2020年2月期第2四半期(2019年3月～8月) 連結決算概要

2020年2月期第2四半期連結業績

- 第2四半期累計期間の連結業績は、売上高はほぼ横ばい、営業利益は前年同期比10.1%の増益となりました。
- 当期より持分法投資利益が無くなることから、経常利益、四半期純利益は減益となりましたが、営業利益、経常利益は計画を上回り、順調に推移しています。
- 2020年2月期通期の連結業績は、当初計画から変更はなく、通期では増収、営業利益、当期純利益で増益となる見通しです。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
21,925百万円 (前年同期比 △0.8%)	2,195百万円 (前年同期比 +10.1%)	2,370百万円 (前年同期比 △8.0%)	1,484百万円 (前年同期比 △18.3%)

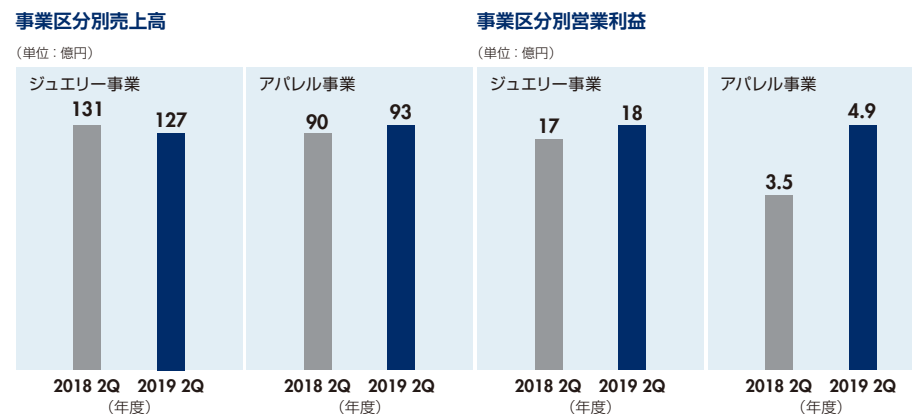


セグメント情報

- ジュエリー事業は減収増益となりました。各種施策の奏功によりプライダルジュエリーが好調に推移したに加え、不採算店舗の圧縮を進めたことにより店舗収益力が向上しました。
- アパレル事業は増収増益となりました。アパレルメーカー事業における主力得意先との取り組み強化や、デイリーファッション事業における出店拡大が寄与し、好調に推移しました。

事業区分別業績	売上高 (単位: 百万円)			セグメント利益 (単位: 百万円)		
	2019年2月期 第2四半期	2020年2月期 第2四半期	前年同期比(%)	2019年2月期 第2四半期	2020年2月期 第2四半期	前年同期比(%)
ジュエリー事業	13,108	12,671	△3.3	1,731	1,815	+4.8
アパレル事業	8,985	9,254	+3.0	351	490	+39.6

注1: 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2: 外部顧客に対する売上高を表示しています。



トピックス

「4℃」クリスマスプロモーションの展開

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

今年も「4℃」では、最大商戦であるクリスマスに向けてテレビCMを始めとしたプロモーションを積極的に行います。クリスマスの高揚感とブランドの持つ上質な空気感を、強いメッセージとともに描きました。また、ファッション誌とのタイアップにより、話題性の高いコンテンツを発信していくことで、共感や憧れを引き出し、クリスマスギフトとして常に選ばれ続ける「4℃」ブランドの想起に繋がてまいります。

「4℃」クリスマスプロモーション広告



「Canal」リブランディング

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「canal4℃」はこの秋、ファッションジュエリーセレクトショップ「Canal Produced by 4℃」へと生まれ変わりました。トレンドを程よく取り入れたオリジナルジュエリーに加え、国内外のデザイナーが手掛けるデザイン性の高いアイテムを取り揃えています。“Shine for All すべての人に輝きを”をテーマに、自由に自分らしく楽しめるようなジュエリーをお届けしていきます。皆様のご来店をお待ちしております。

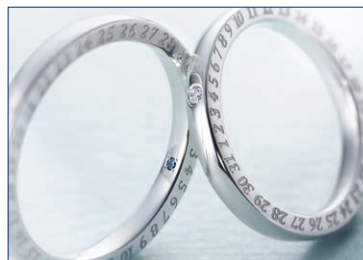


「Canal Produced by 4℃」ランドマークプラザ店

4℃ BRIDAL「カレンダーリング」をリリース

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4℃」では、マリッジリングとして、また特別な記念日を彩るアイテムとして、「カレンダーリング」を新たにご用意しました。内側もしくは外側に留める誕生石を「月」、リングの側面に刻まれた1～31の数字を「日」として、365日の中から特別な1日をリングに刻むことができます。結婚記念日やお互いのお誕生日など、大切な1日を形にしたリングは、お二人の絆をいつでもそばに感じられる特別なアイテムとして常にあなたに寄り添い続けます。



4℃ BRIDAL「カレンダーリング」

バスタオル寄贈

株式会社アスティ

(株)アスティでは、1972年から毎年「敬老の日」に合わせて老人福祉施設へバスタオルの寄贈を行っています。49回目となる今年も、広島市内の96カ所の老人福祉施設にバスタオル6,228枚をお届けしました。9月2日(月)に市役所を訪問し広島市長に目録を贈呈した後、9月5日(木)、6日(金)、11日(水)には福祉施設を訪問しました。今年で寄贈枚数の合計は15万枚を超えました。

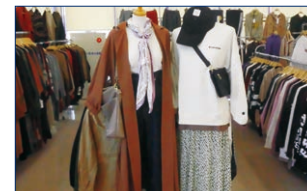


老人福祉施設へのバスタオルの寄贈

「パレット」3店舗オープン

株式会社アージュ

デイリーファッション「パレット」は、出店拡大による関西ドミナントを推し進めています。2019年度上期は、今福店、別所店、逆瀬川店の3店舗をオープンし、関西地区では42店舗となりました。また、既存店の活性化として、養父店をはじめ3店舗をリニューアルし、地域のお客様に喜んでいただける、活力あるお店作りに取り組みました。キャッシュレスへの対応としては、「パレット」直営店舗で以前から取り扱っているクレジット決済等に加え、QRコード決済の「PayPay」「LINE Pay」を新たに導入し、お客様の利便性向上に取り組んでいます。今後もお客様感謝デーやしあわせ会員様ご優待など、お客様がワクワクするような企画を打ち出し、楽しい商品とサービスを提供してまいります。



「パレット」養父店

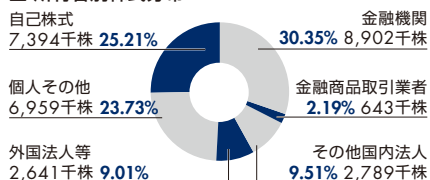
■ 株主情報

株式情報 (2019年8月31日現在)

発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	7,059名

株式分布状況 (2019年8月31日現在)

■ 所有者別株式分布

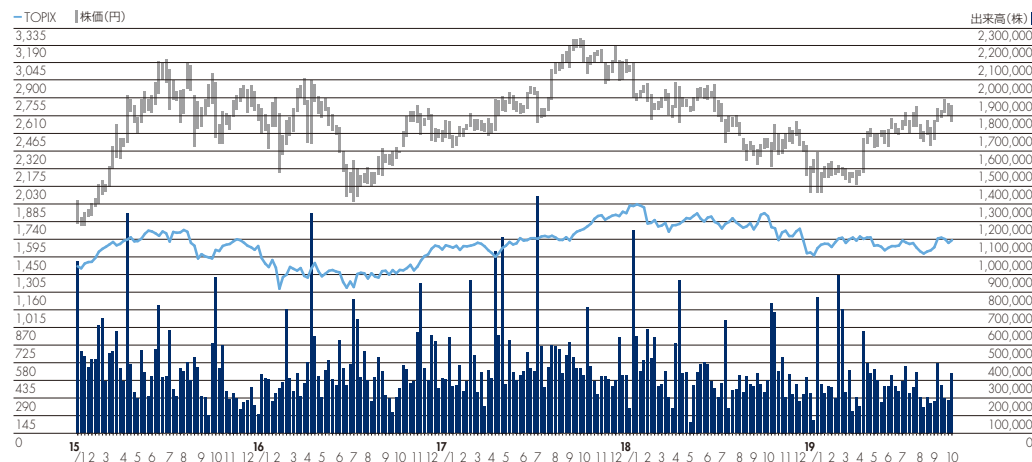


大株主 (2019年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
株式会社広島銀行	1,084	3.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,078	3.68
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	881	3.01
株式会社三井住友銀行	781	2.66
株式会社伊予銀行	739	2.52
4℃ホールディングスグループ共栄会	738	2.52
株式会社もみじ銀行	477	1.63
大田博巳	450	1.53
尾山嗣雄	434	1.48

注：当社は自己株式7,394,533株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価推移



■ 会社概要 (2019年8月31日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円

事業内容 ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業

連結子会社 9社

■ 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法) 当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) https://yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

■ 株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

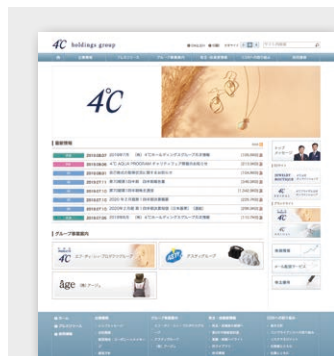
お問い合わせ先

0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <https://yondoshi.co.jp>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3274 / FAX: 03-5719-3289

経営企画部 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを「コーポレートガバナンス・ガイドライン」としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <https://yondoshi.co.jp/company/governance/>